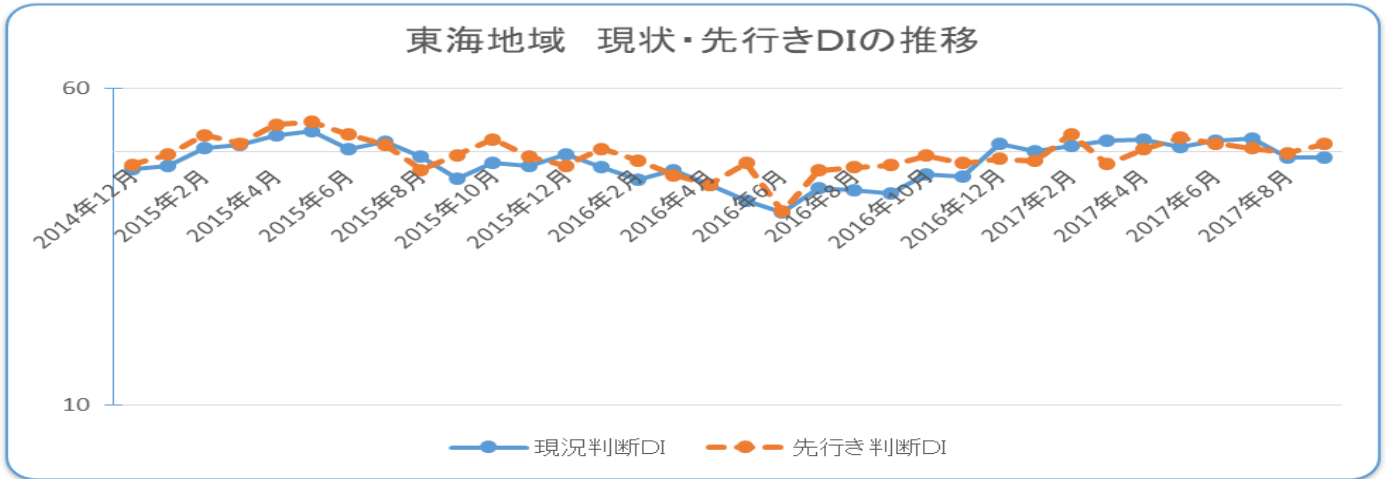


### 東海地域 現状・先行きDIの推移



#### ◆東海地方 2017年9月 景気判断理由 一部抜粋

	分野	判断	判断の理由、追加説明及び具体的状況の説明、回答者属性
現状	家計 動向 関連	やや良	《販売量の動き》弁当、おにぎり、カウンターで売っているファーストフード商品等の販売が伸びている。主力商品なので良い傾向にあるが、その他の商品は、回復していない。【コンビニ（エリア担当）】
		不変	《競争相手の様子》建築塗装業は、従前から低迷状況が続き、これ以上は悪くなりようもない。新築物件が減ってリフォーム物件も一段落の感がある。【住宅販売会社（従業員）】
		やや悪	《販売量の動き》事務用回線の新規申込は増加しているが、住宅用回線の申込は減少している。【通信会社（サービス担当）】
	企業 動向 関連	やや良	《取引先の様子》2018年末から本格的にスタートする4K放送に対応するため、ケーブルテレビ事業者では光回線化等、設備の高度化が進められている。それに伴って設備更新工事や光関連機器の需要が増えている。【電気機械器具製造業（総務担当）】
		不変	《取引先の様子》為替や株価に大きな動きがなく、個人投資家の含み益も大きくは変わらないため様子見の客が多い。利益を確定したり含み益が大きくなれば消費意欲も高まるが、現状では動けない状況である。【金融業（企画担当）】
		やや悪	《受注量や販売量の動き》前年まで売上の2割以上を占めていた主力製品が、他社製品に切り替えられ、受注量がついにゼロになった。残業は全くなく、在庫が増えつつある。【窯業・土石製品製造業（社員）】
	雇用 関連	やや良	《周辺企業の様子》9月も、従来から続くやや上向きの景況感に変化はないが、エンジニアの稼働率は3か月前よりもやや高い水準となっており、更に景気はやや良くなっている。【人材派遣会社（営業担当）】
		不変	《求職者数の動き》新規求職者は前年同月比でマイナスが続いているが、マイナス幅はこれまでより縮小しつつある。【職業安定所（所長）】
		やや悪	《求職者数の動き》雇用保険受給者が4か月連続で前年同月を上回っており、事業主都合による退職者も増加している。求人も、正社員より非正社員の募集が多い。【職業安定所（職員）】
先行き	分野	判断	先行きに対する判断理由、回答者属性
	家計 動向 関連	やや良	気候が良くなり行楽等の外出が増え、関連商品の需要が伸びる。また、年の瀬までに住環境を整えようとする駆け込み客も出てくるので、業績には追い風となる。【その他サービス（介護サービス）（職員）】
		不変	全体としては落ち込んでいないが、需要の変動を吸収できる業界とできない業界があり、平均化された景気としては変わらない。国内だけをみれば景気は良いようにみえるが、海外と比較すれば、伸び率は低い。【旅行代理店（経営者）】
		やや悪	節約志向が強まり、客は価格に対して敏感になっているので小売業は厳しい。季節要因を考えると今後は若干上向くかもしれないが、あまり変わらない。【一般小売店（電気屋）（経営者）】
	企業 動向 関連	やや良	国内シェアの高い新型のスマートフォンや新型SUV・EVの発売で、一時的に消費は活気付く。秋祭りやイベントによる需要増加、市外からの旅行者の増加による消費拡大も期待できる。【通信会社（総務担当）】
		不変	企業間の格差や個人の所得格差は更に広がるばかりである。大手企業を中心に考えれば景気は良くなるが、中小企業を主体に考えれば、悪くなる。【会計事務所（職員）】
		やや悪	新聞折込チラシに対する広告主の目が、一段と厳しくなっている。【新聞販売店（広告）（店主）】
	雇用 関連	やや良	人手不足感が一層強まっており、人材確保のために労働条件や賃金体系の見直し等を考える事業所が徐々に増えている。働き方が変化することで、景気回復にもつながっていく。【職業安定所（職員）】
		不変	窓口には、会社都合の転職ではなく、自らより好条件での就職を求めて登録に来る求職者が増加している。ただ、雇用情勢全体をみると、先行きは不透明である。【職業安定所（職員）】
やや悪		前月に比べて、新規求人数が8%減少し、新規求職者が8.5%増加したため、新規求人倍率が0.37ポイント低下している。【職業安定所（職員）】	